

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2294202318	事業の開始年月日	2019. 12. 15
		指定年月日	2019. 12. 15
法人名	株式会社 スマイル		
事業所名	スマイル住まいる大岩		
所在地	(〒 420 - 0885 ) 静岡県葵区大岩町9 - 23		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	2023. 3. 10	評価結果	市町村受理日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

お客様を敬う姿勢で接するための方針 『スマイルの誓い』 を常に念頭に置いてケアを心がけております。  
また、お客様の意思を尊重して、その人らしい生活を送って頂きたいと考えています。常にお客様目線でのケアが行えるよう、スタッフには指導・育成をおこなっています。  
その他、自立支援を心がけお客様の出来る事を奪わない・活躍の場を提供させて頂くように努めています。

## 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	静岡県介護保険課・民生委員		
所在地			
訪問調査日	2023. 3. 08	評価機関 評価決定日	

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

以下ご参照。

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	12 ～ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	17 ～ 23
V アウトカム項目	56 ～ 68	

スマイル住まいる大岩 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
1	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	B. ほぼできている	定期的な研修を職員全員が受講し直接的な身体拘束は行われいない。また身体拘束廃止委員会を通して拘束になり得る事案を学ぶ、日頃のケアの見直しを行なっている。	B. ほぼできている	職員に対する教育も行われ事例検討を行うことでより具体的に学べ、ケアに繋ぐ事ができていると感じました。	<a href="#">身体拘束適正化に関する指針</a> <a href="#">身体拘束適正化委員会議事録</a>
2	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	B. ほぼできている	虐待についての研修を事業所にて実施。三か月に一度委員会を開催している。	B. ほぼできている	ストレス・アンガーマネジメント研修も行う事により虐待の原因となるストレスへの対応について学ぶ機会がある等職場環境への整備も出来ていると感じま	<a href="#">・虐待防止、身体拘束研修</a> <a href="#">・研修レポート</a>
3	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B. ほぼできている	ご家族様にも定期的に施設への意見がないか確認をとっている	B. ほぼできている		
4	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	B. ほぼできている	定期的に面談を実施し、個人的に話が出来る時間を確保している。年度初めに目標設定を行ってもらい、それを一年かけて達成してように取り組んでいる。	B. ほぼできている	職場環境の整備へ取り組みがなされています。馴染みの関係が築けるよう、今後も職員に定着するよう取り組みを継続して頂ければと思います。	<a href="#">人事評価制度</a> <a href="#">処遇改善に関する内容</a>
5	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている	資格取得や研修への参加ができるようバックアップをし、職員の技能向上に努めている。	A. 充分にできている		<a href="#">社内プチ研修</a> <a href="#">OJTチェックシート</a>
6	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	B. ほぼできている	アセスメント時にご家族やご本人様に聞き取りを行っている。またその情報をチームに共有しケアの方針・プランの作成に役立てている。プラン内容に変更が必要な際にも話し合いを実施している。	B. ほぼできている	3月に1回モニタリングが行われ短期目標（6ヶ月）毎にプランの見直しが行われています。見直しの際にご家族の満足度が確認出来るとより良いと思いま	<a href="#">モニタリング記録</a> <a href="#">介護計画書①</a>
7	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	B. ほぼできている	自立支援に向け、日々のケアの内容や状態などを記録し、その情報から改善に向けた取り組みを検討している。	B. ほぼできている	自立支援に向けて、出来る限り運動等の取り組みを行えていると思います。	<a href="#">カンファレンス</a>

スマイル住まいる大岩 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
8	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	B. ほぼできている	必要な情報は直接入院先にお伝えしている。また入院中の状態等も電話を入れ、ご家族や病院に容態をお聞きしている。	B. ほぼできている		入退院時記録
9	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている	入居時に看取りについての説明や意志の確認し、その上で実際に状態が変化してきた時は再度今後の方針について意志の確認を取り直している。看取りについては訪問診療や訪問看護などと連携し対応できるようにしている	A. 充分にできている		<a href="#">看取り介護計画書</a> <a href="#">看取りケアに関する研修</a>
10	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	B. ほぼできている	施設内では定期的に避難訓練を実施している。	B. ほぼできている	年に二回の訓練を実施しており利用者も含めて行っている。普段清掃等で地域との関係祭を築いているが防災委員と話をしたり地域の防災訓練に職員だけでも参加する等地域との協力体制が築けると思います。	<a href="#">消防計画・訓練結果</a>
11	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B. ほぼできている	会社として丁寧な言葉遣いを徹底しており、職員も意識して心がけている	B. ほぼできている		<a href="#">個人情報とプライバシー保護 研修</a>
12	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	B. ほぼできている	得意な方には職員と一緒に食器の片付けなど手伝って頂いている。普段の食事の準備は職員が行うことが多いが、お客様ができる部分を考え一緒に作るレクリエーションを企画するなどしている。	B. ほぼできている	食事の一連の動作が本人の役割に繋がっている部分がある為継続して行って頂きたいと思います。	
13	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	B. ほぼできている	入居の際には無料にて訪問歯科に検診をお願いしている。また、月に一度口腔内に関する助言も頂きスタッフに周知している。	B. ほぼできている		<a href="#">口腔衛生に関する助言</a> <a href="#">口腔衛生計画書</a>
14	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B. ほぼできている	排尿の感覚を把握し必要な方は定期的にご案内している。また便秘の解消の為、食物繊維が豊富に摂れるファイバーを用意し必要な方に提供している。	B. ほぼできている		

スマイル住まいの大岩 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
15	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	B. ほぼできている	症状の変化などを観察して、医師や看護師に相談している	B. ほぼできている		
16	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能がわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B. ほぼできている	動線上に障害物がないように配置を気をつけている。また日々の清掃に加え、職員で分担して共同スペースや居室の換気扇やエアコンを月に一度は清掃し気持ちの良い空間となるよう取り組んでいる。	B. ほぼできている		<a href="#">共用部写真①</a> <a href="#">共用部写真②</a>
17	本人主体の暮らし	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている	毎日のバイタル測定や食事の管理、医師、看護師、歯科医師などによる定期的な体調の確認。またメディカルケアステーションを活用した医師や看護師、薬剤師などとのスムーズな連携が取れるようになっている。	A. 充分にできている		
18	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている	入居前に認知症の観点からも馴染みの物を利用する事の利点をお話しし、ご本人に危険が起こるリスクがないか考えながらできるだけ利用して頂いている。	A. 充分にできている		<a href="#">お客様居室写真①</a> <a href="#">お客様居室写真②</a>
19	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	B. ほぼできている	今までの生活歴や性格などを鑑みて、特技を活かしたGHでの仕事や興味の持てるレクなどを提供できるようにしている。	B. ほぼできている	役割を持ってもらう事で、本人が持つ力の活用が出来ていると思います。また中々作業が出来ない方についてもその方に合ったレクリエーションの提供をし、いきいきと過ごすことが出来る様支援がされていると感じました。	
20	総合	本人は、このGHに在ること、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	B. ほぼできている	毎日顔なじみのスタッフやお客様と過ごし自然に会話を楽しんでいる。また散歩の際は地域の方に挨拶をしたり、少しずつではあるがGHの存在を知って頂ける様になっている。	B. ほぼできている		